

照明技術賞

- 最優秀照明賞** 劇映画部門 **ガンヘッド**（ガンヘッド製作委員会） 担当 **栗木原 毅**
 助手 渡辺保雄 三上鴻平 雨平 巧 坂本和広 二見弘行
- 特撮部門 担当 **斉藤 薫**
 助手 川越和見 小沢文明 井上英一 伊藤 保 木下篤弘 壺岐尾りつ子
- 最優秀照明賞** TVドラマ部門 **山頭火**（日本放送協会） 担当 **鈴木 利夫**
 助手 花清敏夫 深谷和生 中上鎮雄
- 最優秀照明賞** 産業記録映画部門 **燃える舞**（東映映教育事業部） 担当 **田久保 剛**
- 最優秀照明賞** C・M部門 **サントリー鉄骨飲料・陽気な乙女編**（㈱スプーン） 担当 **永田 哲也**
- 特別賞** TVドラマ部門 **北の国から89帰郷**（㈱フジテレビジョン） 担当 **本間 利明**
- 特別賞** 産業記録映画部門 **工房探訪つくる 金工作家・宮田宏平**（日本放送協会） 担当 **関口珠州男**
- 特別賞** C・M部門 **TOYOTA・NEWマークIIビーム編**（東洋シネマ） 担当 **小林 紀佳**
- 審査委員特別賞** **その人の名を知らず**（日本放送協会） 担当 故 **川原崎賢明**
- 審査委員特別賞** **セブンスターEX 駅編**（電通ブロックス） 担当 **伊藤 春夫**
- 第13回協会賞** 照明技術の発展に尽された功績に対し **岡本 健一**
- 第13回協会賞** 永年勤続 **沖 茂 川崎保之丞 小嶋真二 伴野 功 比留川大助 宮崎 清 森沢淑明**

最優秀照明賞 劇映画部門

ガンヘッド

栗木原 毅

昭和10年7月20日生



兵庫県神戸市出身、昭和30年東宝株式会社入社、劇映画・TV映画など担当。主な作品「あゝ野麦峠新緑編」「ハイティーンブギ」「春の鐘」「零戦燃ゆ」「イタズ」「愛旅立ち」「ゴジラ VS ビオランテ」。

選定理由：ガンヘッド本編の照明は、SFXの未知の世界をよく理解し、特にセットの採光は設計された造形的、色彩照明を施し、写実的リアリズムにもとづいた表現力は些かも破綻もなく、その照明美は秀抜であり、ここに劇映画部門、最優秀照明賞を贈ります。

最優秀照明賞 劇映画部門

ガンヘッド

斉藤 薫

昭和14年8月29日生



昭和33年、都立墨田工業高校卒業、同年東宝株式会社入社、撮影所技術課照明係配属、昭和61年第一回作「映画女優」担当、同作にて日本アカデミー賞優秀賞及び第19回照明技術賞特別賞受賞。

選定理由：ガンヘッドの特撮部分の照明は、本編との調和に充分留意し、特撮の意図を的確に理解分析しており、SFXの世界を見事な表現技術で作品の格調を高め、その功績は高く評価されるものであり、ここに劇映画部門、最優秀照明賞を贈ります。

最優秀照明賞 TVドラマ部門

山頭火

鈴木 利夫

昭和24年11月7日生



昭和43年埼玉県立川口高等学校卒業、昭和44年日本放送協会制作技術局制作技術第3部入局、現在、制作技術局番組技術センター2班所属照明担当。主な作品「本日も晴天なり」「海あけると」「風の海峡」「風の中の子供」。

選定理由：山頭火の一生を画いたドラマの照明設計は明暗、時代、季節感等、その内容を十分に把握し、その表現技術は秀逸であり、作品の格調を高め出色のものにした功績は大きいと認め、ここにTVドラマ部門、最優秀照明賞を贈ります。

特別賞 TVドラマ部門

北の国から

'89帰郷

本間 利明

昭和13年4月15日生



昭和32年松崎照明研究所に入社、35年フジテレビジョン入社、制作技術部照明班、現在に至る。主な作品「白い巨塔」「陽は又昇る」「北の国から」「オレゴンから愛」。昭和57年日本映画照明技術者協会テレビ部門奨励賞、日本照明家協会ドラマ部門賞受賞。

選定理由：三時間にわたる長時間ドラマを乱れることなく緻密な照明設計と丁寧なライティングで処理し、この作品の風土と季節感をよく表現して、ドラマ性を高めた技術はすばらしく、ここにテレビドラマ部門、特別賞を贈ります。

優秀照明賞 産業記録映画部門

燃える舞

田久保 剛

昭和19年千葉県出身



昭和38年東邦大学付属東邦高等学校卒業、映画・テレビの助手を経て、昭和50年東映株式会社と契約、教育映画の制作に従事、現在に至る。主な作品歴「母と子のきずな」教育映画祭入賞、「私たちの井戸端会議」「材料と遊ぶ」文部賞特選教育映画祭入賞、他多数。

選定理由：差別に対する怒りが傘の舞に結集する作品の意図をよく把握し、踊りの激しさを表現する夜の照明や農民の集まりの場面などその表現技術は大きく作品に貢献したものと認め、ここに産業記録映画部門、優秀照明賞を贈ります。

特別賞 産業記録映画部門

金工作家・宮田宏平

関口珠州男

昭和14年1月20日生



昭和35年日本教育テレビ技術学校卒業、同37年日本放送協会技術現業部入局。主な作品「遠きにありて」、「宮本武蔵」、「ゴッホ浮世絵の秘密」、「王政復古」、「松本城」。

選定理由：金工作家・宮田宏平氏の年輪を感じさせる照明設計を、ニュース的手法の中でよく表現した技術は、作品に大きく貢献したものと認め、ここに産業記録映画部門、特別賞を贈ります。

最優秀照明賞 CM部門

サントリー鉄骨飲料

陽気な乙女編

永田 哲也

昭和31年9月17日生



昭和53年照明界に入り今日に至る。主な作品、ケンウッド ROXY、G5、日本ソフトバンク、トヨタトラック、日生レディー、渡辺美里プロモーション映画「フラワーヘッド」、明治「DD」、「ピックアップ」等CMを中心に多数。

選定理由：スケールの大きな作品をバランス良くまとめ上げ爽やかなイメージと共に美しさを充分表現した技術は秀れたものであり、作品に大きく貢献したものと認め、ここにCM部門、最優秀照明賞を贈ります。

特別賞 CM部門

TOYOTA NEW マークII

ビーム編

小林 紀佳

昭和10年2月11日生



長野県長野市出身、東京映画日本テレビを経て昭和38年4月日本天然色映画入社。主な作品「マープルチョコレート」(カンヌCF祭入賞)、「資生堂オリーブ石鹸」(国際広告映画祭金賞)等多数。

選定理由：実写では困難なスケールを十分な照明設計と努力によって完成させ、作品の持つイメージと豊かさを高めた技術は並々ならぬものがあり、ベテランとしての技術を十分に発揮しており、ここCM部門、特別賞を贈ります。

最優秀照明賞 TVドラマ部門

山頭火

鈴木 利夫

昭和24年11月7日生



昭和43年埼玉県立川口高等学校卒業、昭和44年日本放送協会制作技術局制作技術第3部入局、現在、制作技術局番組技術センター2班所属照明担当。主な作品「本日も晴天なり」「海あけるととき」「風の海峡」「風の中の子供」。

選定理由：山頭火の一生を画いたドラマの照明設計は明暗、時代、季節感等、その内容を十分に把握し、その表現技術は秀逸であり、作品の格調を高め出色のものにした功績は大きいと認め、ここにTVドラマ部門、最優秀照明賞を贈ります。

特別賞 TVドラマ部門

北の国から

'89帰郷

本間 利明

昭和13年4月15日生



昭和32年松崎照明研究所に入社、35年フジテレビジョン入社、制作技術部照明班、現在に至る。主な作品「白い巨塔」「陽は又昇る」「北の国から」「オレゴンから愛」。昭和57年日本映画照明技術者協会テレビ部門奨励賞、日本照明家協会ドラマ部門賞受賞。

選定理由：三時間にわたる長時間ドラマを乱れることなく緻密な照明設計と丁寧なライティングで処理し、この作品の風土と季節感をよく表現して、ドラマ性を高めた技術はすばらしく、ここにテレビドラマ部門、特別賞を贈ります。

優秀照明賞 産業記録映画部門

燃える舞

田久保 剛

昭和19年千葉県出身



昭和38年東邦大学付属東邦高等学校卒業、映画・テレビの助手を経て、昭和50年東映株式会社と契約、教育映画の制作に従事、現在に至る。主な作品歴「母と子のきずな」教育映画祭入賞、「私たちの井戸端会議」「材料と遊ぶ」文部賞特選教育映画祭入賞、他多数。

選定理由：差別に対する怒りが傘の舞に結集する作品の意図をよく把握し、踊りの激しさを表現する夜の照明や農民の集まりの場面などその表現技術は大きく作品に貢献したものと認め、ここに産業記録映画部門、優秀照明賞を贈ります。

特別賞 産業記録映画部門

金工作家・宮田宏平

関口珠州男

昭和14年1月20日生



昭和35年日本教育テレビ技術学校卒業、同37年日本放送協会技術現業部入局。主な作品「遠きにありて」、「宮本武蔵」、「ゴッホ浮世絵の秘密」、「王政復古」、「松本城」。

選定理由：金工作家・宮田宏平氏の年輪を感じさせる照明設計を、ニュース的手法の中でよく表現した技術は、作品に大きく貢献したものと認め、ここに産業記録映画部門、特別賞を贈ります。

最優秀照明賞 CM部門

サントリー鉄骨飲料

陽気な乙女編

永田 哲也

昭和31年9月17日生



昭和53年照明界に入り今日に至る。主な作品、ケンウッド ROXY、G5、日本ソフトバンク、トヨタトラック、日生レディー、渡辺美里プロモーション映画「フラワーヘッド」、明治「DD」、「ピックアップ」等CMを中心に多数。

選定理由：スケールの大きな作品をバランス良くまとめ上げ爽やかなイメージと共に美しさを充分表現した技術は秀れたものであり、作品に大きく貢献したものと認め、ここにCM部門、最優秀照明賞を贈ります。

特別賞 CM部門

TOYOTA NEW マークII

ビーム編

小林 紀佳

昭和10年2月11日生



長野県長野市出身、東京映画日本テレビを経て昭和38年4月日本天然色映画入社。主な作品「マールチョコレート」(カンヌCF祭入賞)、「資生堂オリーブ石鹸」(国際広告映画祭金賞)等多数。

選定理由：実写では困難なスケールを十分な照明設計と努力によって完成させ、作品の持つイメージと豊かさを高めた技術は並々ならぬものがあり、ベテランとしての技術を十分に発揮しており、ここCM部門、特別賞を贈ります。